

港区立高陵中学校

令和6年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①話の構成を吟味して話したり、話し手の話す内容を的確にとらえて聞いたりすることができる。 ②文章の構成や表現の方法を工夫し、自分の考えを書くことができる。	①話すこと・聞くことに課題がある。話し合いの中で必要に応じた質問をして内容を捉える力や、資料を活用して自分の考えを分かりやすく伝える力が弱い。 ②本文理解のために着目する内容を決めて要約することに課題がある。	①各単元の授業における他者との意見交流を通して、意見の趣旨や優れた点を聞きとる学習方法を指導していく。 ②自分の考えが効果的に伝えられる方法を吟味させ、グループで交流する活動を行う。 ③文章の構成や表現の方法に着目しながら、本文の内容をワークシート等にまとめ、優れた点を分析する活動を行う。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的に考察し、説明したり、表現することができる。 ②諸資料を基に出題文の意図を正確に理解することができる。	①学力差が大きく、特性のある生徒への対応を要する。 ②選択形式では正答できるが、資料を基に考察するなど思考力を要する問いには苦手意識がある。 ③読解力不足により、問題の意図を正確に読み取れない。	①単元内自由進度学習等を取り入れ、特性のある生徒も学びやすくする。 ②日頃から資料に目を慣れさせ、「なぜ～なのか」という問いの形を意識しながら考察、思考する力を単元ごとに養う。 ②発表、パフォーマンス課題等から課題に正対する読解力、表現力を伸ばしていく。

数学	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①「図形」「データの活用」の領域の問題を解くことができる。(思判表B「図形」、知技D「データの活用」) ②選択式の問題を解くことができる。(知技B「関数」、知技D「データの活用」)	①「図形」「データの活用」の領域において、全国の平均正答率と都の平均正答率を下回っている。 ②「数と式」「関数」の領域において、全国の平均正答率と比べて+3ポイントとなっており、他の領域に比べると理解できている。 ③問題形式別正答率において、「選択式」の問題が唯一、全国の平均正答率を下回っている。記述式においては全国の正答率を+2ポイント上回っているため、応用問題は解くことができているが、比較や解釈する問題に課題がある。	①図形の領域において、角の大きさに着目し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出せるよう、2学期の「相似な図形」「円」の授業で証明問題を中心に演習を行っていく。 ②データの活用の領域において、「確率」「四分位範囲」の意味や基本的な求め方の理解が不十分なため、1, 2年生の復習を行うとともに、データを読み取る力、数学的な表現を用いて説明する力を理解させるような指導をしていく。 ③2学期以降授業開始時に、計算問題や、図形の角度を求める問題、確率、四分位範囲に関する問題の演習を行っていく。また、定期的に計算テストなどを行い、定着率を確認していく。

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ②観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ③自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	①実験・観察などで活用するための基本的な知識・技能を理解する力について課題が見られた。 ②地震波のグラフから地震発生時刻を求めたり、遺伝の発生割合を求める問題など、実験・観察などの結果から規則性や関係性を見出す力に課題がみられた。 ③既習事項から更なる探究活動につなげる態度に課題が見られた。	①毎回の授業や単元の区切りなどで小テストや単元テストを実施し、反復学習を行うことで、知識・技能の定着を図る。 ②グラフや表などを活用し、結果を予想・推測する力を日ごろの授業から多く扱っていく。 ③振り返りをさせる際に、学んだことだけでなく、さらに学びたいことや疑問点を書かせることで、日ごろから色々な事物・事象を多角的にみる態度を養わせていく。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	①表現力 ②きれいな発音、発声をするための技術力 ③他者との協調、協働して取り組むコミュニケーション力	①音楽の表現をより豊かなものにするためのペアやグループでの活動において、生徒同士のコミュニケーションの力が不足している。 ②様々な時代や国の音楽に対する興味や関心を高める必要がある。 ③音楽活動を行うために必要な知識や基本的な発声法や楽器の奏法が身につけていない生徒が見られる。 ④音楽から感じたイメージや意見などを自分自身の言葉で表現し、理解を深められるような授業展開を工夫する必要がある。	①他者の演奏を聴いて、よいところを必ず言えるよう、評価の観点を指導する。 ②様々な時代や国の音楽に触れるようなカリキュラムを考案する。 ③基礎的な奏法、発声法を、簡単な曲を使って毎時間指導する。 ④「なぜ そう感じたのか、そのイメージをもった理由」などを発表させたり、他者の意見を聞いたりして、自分のイメージをふくらませられるようにする。 ⑤進捗度がわかるようなふりかえりを工夫する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	①課題を通して感じ取ったことや考えたことなどをもとに材料や用具の生かし方を考えて、心豊かな表現をすることができる。(表現) ②作者の意図や生活と美術について考え、対象の見方や感じ方を広げることができる。(鑑賞)	①達成感を味わう作品にするための知識・技能の習得がやや不十分である。 ②発想や構想を練ることが苦手な生徒が多い。	①基本的な知識や技法については授業の導入時や、毎単元の各段階にて再確認する。 ②アイディアスケッチの時間を十分に確保し、また多くの作例を示すことで、個々のイメージを膨らませる。

	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	①各種の運動の特性に応じた技能を身に付ける力 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断する力	①新体力テストでは、握力の数値が全体的に低かった。 ②運動についての自他の課題を発見することや、課題の合理的な解決に向けて思考することに課題があった。	①ペア学習やグループ学習を取り入れ、個人やグループの課題を解決する授業を展開する。 ②ICT機器を活用し、動きを客観的に捉えられるようにする。 ③準備運動後の補強運動やゲーム等で運動量を確保する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	①安全・適切なプログラミングの制作、動作確認及びデバッグができる。(D[情報の技術] 知技) ②進んで技術と関わり合い、主体的に理解し、技能を身に付けようとする。(A～D 学びに向かう姿勢)	①「情報の技術」において、粘り強く、適切なプログラミングをすることができていない。 ②実技経験の乏しい生徒が多く、道具の適切な使用ができない。	①情報の授業では、何度でも間違えられるようにし、生徒間で相談しあえるようにする。プログラミングではコーディングの発展的な内容にまで取り組み、デバッグなどにも取り組む。 ②実技においては生徒が失敗しないように各製作工程において点検を実施する。道具を使用する際には、机間指導を実施し適宜アドバイスや見本提示を行っていく。

外国語 (英語・国際)	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①語彙能力を問われる問題をより正確に解くことができる。 ②「書くこと」の問題をより正確に解くことができる。	①語彙問題の正答率が60%を下回っている。 ②「日常的な話題について、事実と自分の考えなどを整理して、まとまりのある文章を書く問題」の正答率が前者は65%を下回っている。	①語彙能力を問われる問題に関しては、授業中において、意味を確認し、発音を教え、リピートさせるところまで行っていたが、ここに「書くようになる学習」をさらに取り入れ、定着を図る。 ②「書くこと」の問題においては、全国学力・学習状況調査で出題された問題を様々なパターンで練習させ、英文作成能力を育てる。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①自主的に考え行動する態度を養い、自律性の育成を目指す。 ②誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心の育成をする。	①授業のねらいを先読みして、模範となる答えを率先して答えようとする生徒が多い。	①教員が研修した「人権」についての学びを、道徳の授業で行う。 ②各教科授業ごとに人権教育を意識して授業を行う。 ③多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫 ④心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫 ⑤「特別の教科 道徳の教科書」活用の工夫

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。	①集団活動を円滑に送るための自主的な活動ができる生徒とできない生徒の差が大きい。	①生徒自ら計画し、行動することを促してリーダー育成を目指して行事の実行委員等を活用する。 ②生徒会活動において、生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、話し合い活動を充実させる。 ③「高陵コミュニケーションスキル」を共有化した指導を行う。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	①SDGsに主軸をおき、多くの社会で活躍する人材と交流し、グローバルな視点で物事を考えられるようにする。	①昨年度作成した3年間のSDGs教育を各学年で実施し始めたが、各学年の方向性が一致していない。	①国際理解については、大使館を訪問したり、ゲストティーチャーを招いたりして、日本文化を体験する機会を設ける。シンガポールの修学旅行を通して日本と世界のSDGs達成に向けた改善策を考えていく機会を設ける。